

令和4年度富山県内の市町村普通会計決算の状況

1. 決算規模と歳入歳出の概要

歳入総額 5,241億42百万円（対前年度比▲242.06億円）

歳出総額 5,023億51百万円（対前年度比▲238.26億円）

○子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金等の減により前年度より総額が減少

歳入

(1) 歳入概要 5,241億42百万円（R③5,483億48百万円、▲4.4%）

【市町村税】 1,737億03百万円（R③1,688億16百万円、+2.9%）

〔市町村民税（法人）〕 144億57百万円（R③134億73百万円、+7.3%）

〔市町村民税（個人）〕 575億93百万円（R③565億48百万円、+1.8%）

〔固定資産税〕 829億08百万円（R③808億00百万円、+2.6%）

【地方交付税】 983億49百万円（R③994億46百万円、▲1.1%）

【臨時財政対策債】 73億53百万円（R③167億25百万円、▲56.0%）

【国庫支出金】 863億14百万円（R③1,007億61百万円、▲14.3%）

○歳入の推移は次頁「一般財源、特定財源の推移」のとおり

歳出

(2) 歳出概要 5,023億51百万円（R③5,261億78百万円、▲4.5%）

【義務的経費（人件費、扶助費及び公債費）】

2,248億26百万円（R③2,358億08百万円、▲4.7%）

〔人件費〕 711億33百万円（R③698億19百万円、+1.9%）

〔扶助費〕 928億84百万円（R③1,049億15百万円、▲11.5%）

〔公債費〕 608億09百万円（R③610億74百万円、▲0.4%）

※ 端数処理により義務的経費計と内訳が一致しないことがある

【投資的経費（普通建設事業費及び災害復旧事業費）】

626億63百万円（R③752億13百万円、▲16.7%）

○歳出の推移は次頁「性質別歳出の推移」のとおり

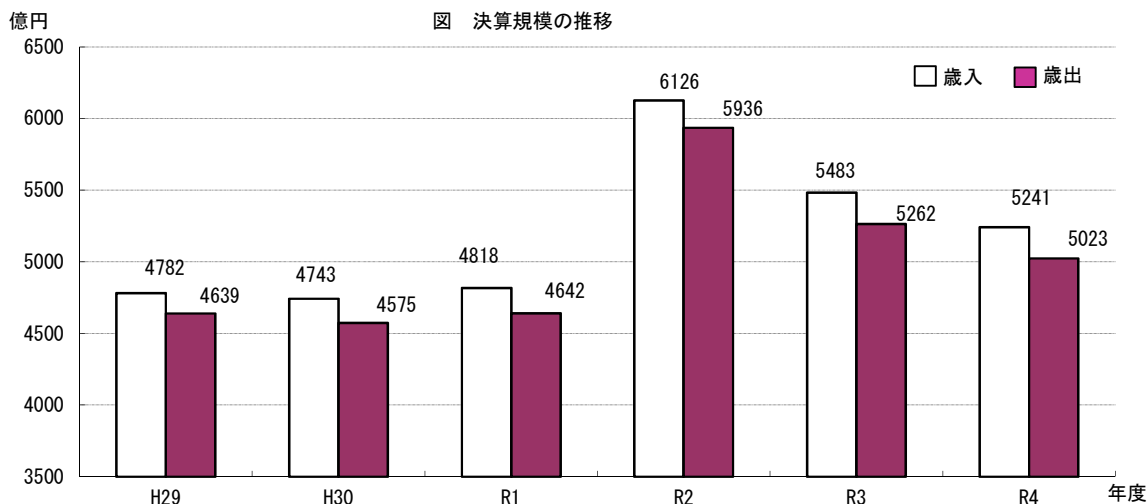


図 一般財源、特定財源の推移

一般財源：地方税、地方交付税、地方譲与税等
 特定財源：地方債、国県支出金、その他

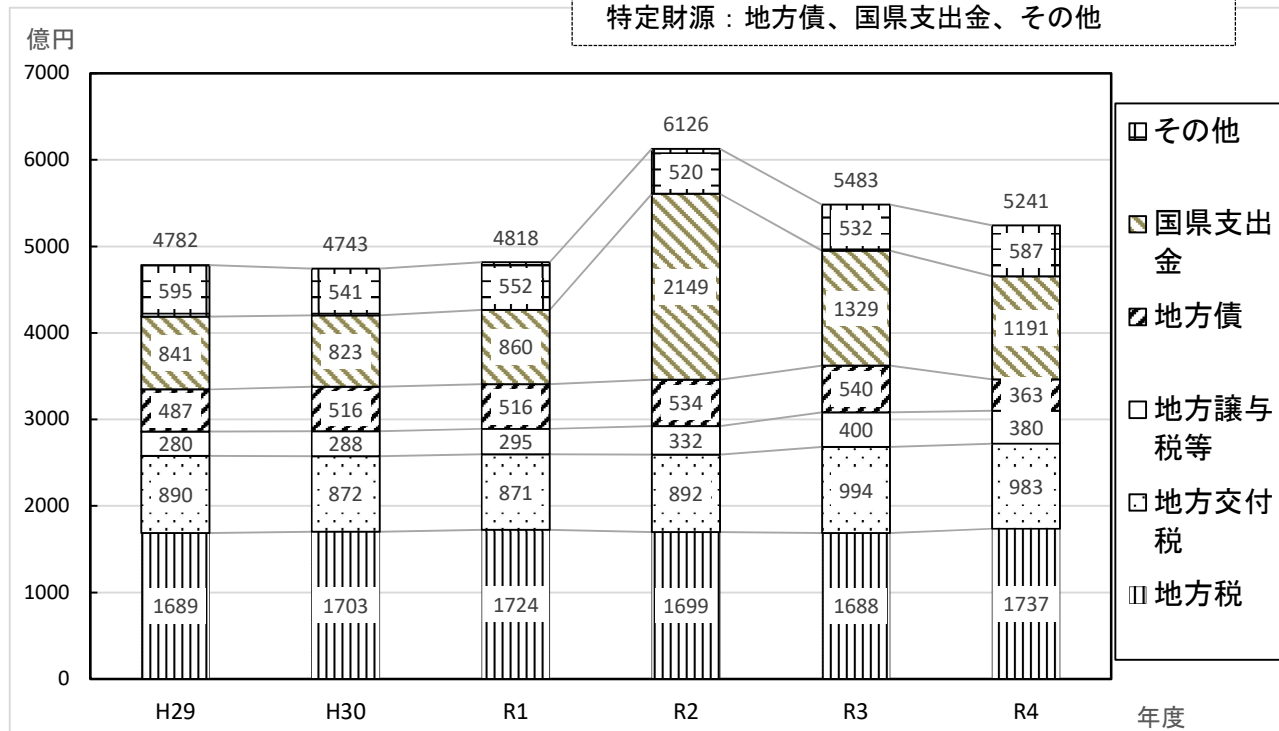
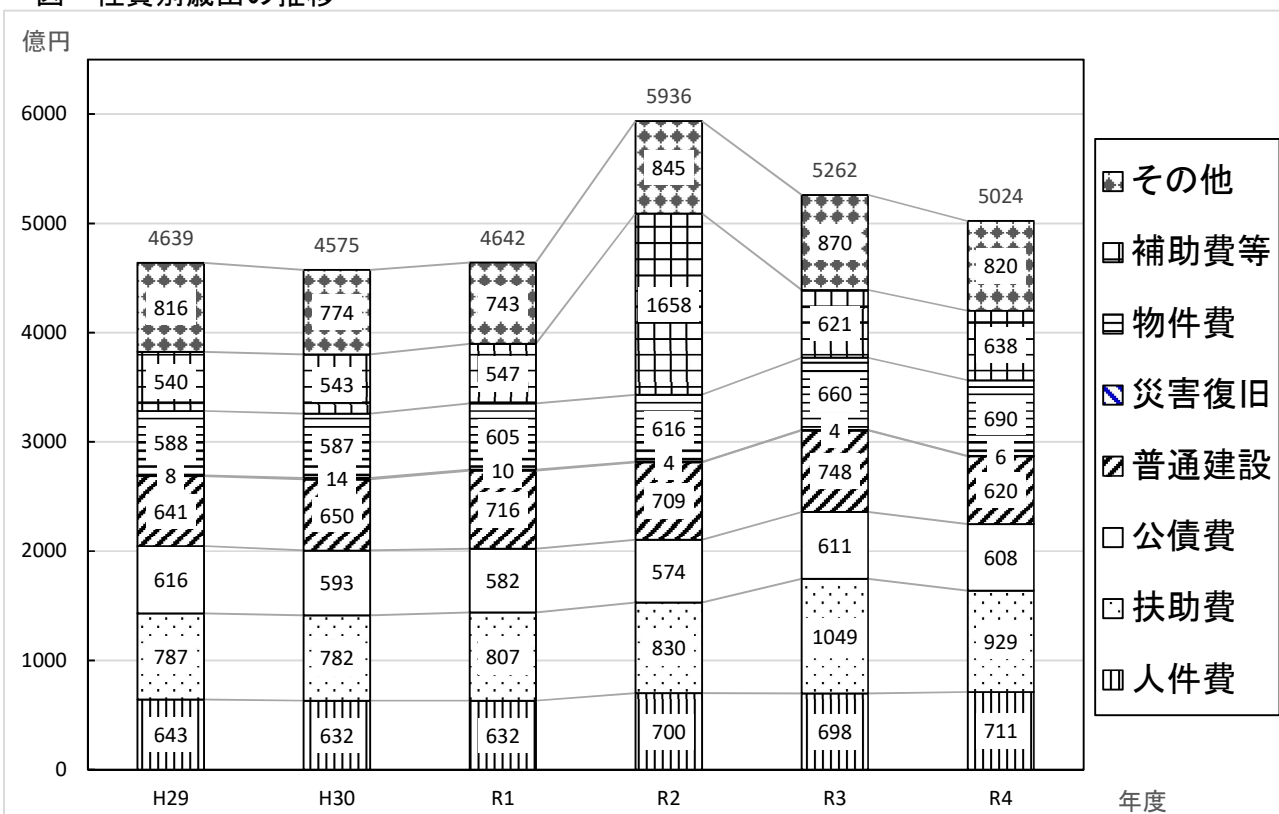


図 性質別歳出の推移



2. 決算収支の状況

- (1) 形式収支 217億91百万円 (R③221億70百万円、▲1.7%)
- (2) 実質収支 179億27百万円 (R③175億51百万円、+2.1%)

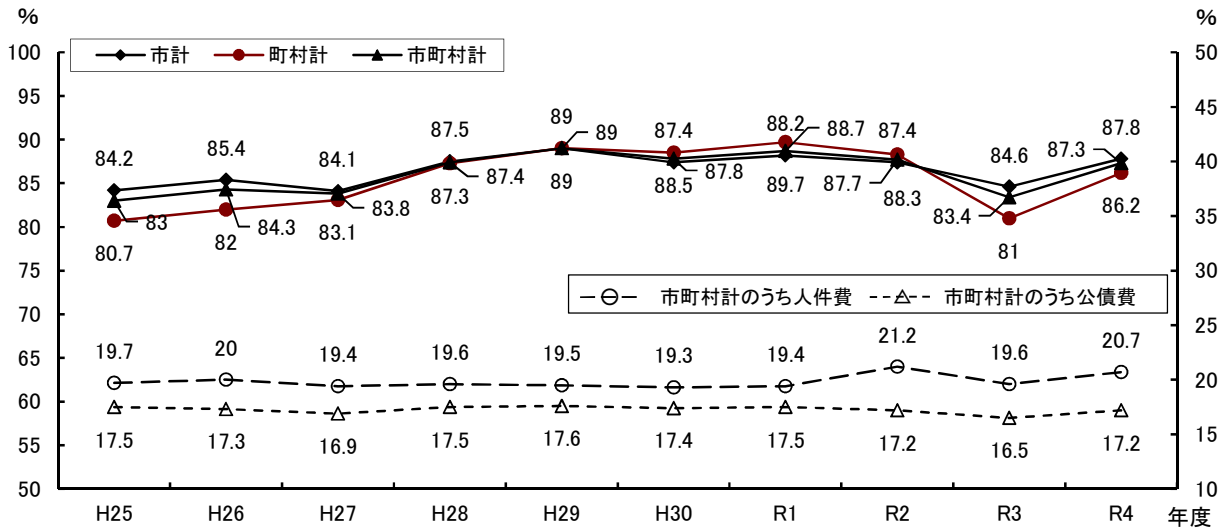
※ いずれも全団体が黒字

- ・ 単年度収支 3億76百万円 (R③18億64百万円、▲79.8%)
- ・ 実質単年度収支 42億19百万円 (R③77億35百万円、▲45.5%)

3. 財政構造の弾力性

- (1) 経常収支比率は、87.3%（単純平均）（R③83.4%、+3.9%）
 (2) 全団体において経常収支比率が上昇

図 経常収支比率の推移



4. 将来にわたる財政運営

- (1) 地方債残高
 5,871億51百万円（R③6,093億72百万円、▲222億21百万円、▲3.6%）
 ・ 7年連続で減少
 ・ うち臨時財政対策債を除く地方債残高は
 3,875億75百万円（R③3,981億25百万円、▲105億50百万円、▲2.6%）
- (2) 積立金現在高
 1,302億34百万円（R③1,206億95百万円、+95億39百万円、+7.9%）
- (3) 地方債残高に債務負担行為額を加え、積立金現在高を引いた額
 5,320億60百万円（R③5,754億09百万円、▲433億49百万円、▲7.5%）

図 地方債現在高の推移

